

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 市営住宅の整備

施策コード 5060402

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 建築住宅課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	節 第4節 住宅
	施策	市営住宅の整備	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した市営住宅の建替えを行うことにより、災害に備えた町並みの形成や地域の核となる空間の創造に寄与する市営住宅の供給を進めます。 市営住宅の管理について、必要に応じて民間委託を進めます。 			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した市営住宅の建替えについては、子育て世代、高齢者、障がいのある人など入居者の世帯構成やニーズの多様化に対応した、安全で、安心できる住宅が求められています。 入居者への対応を充実させるため、家賃等の集金及び日常の簡単な修理等の民間委託が必要となっています。 			
施策目標			
対象(誰を、何を、どこを)			
市民			
意図(どのような状態にしたいのか)			
高齢者や障がいのある人をはじめ、あらゆる人が安全快適に生活できる住宅の供給。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	50.4						
重要度(偏差値)	30.6						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H30決算	R元決算					
コストの内訳	人件費	千円	67,060	67,105				
	事業費		67,719	67,206				
	フルコスト		134,779	134,311				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		142,745	131,906				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		-7,966	2,405				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		-75,026	-64,700				

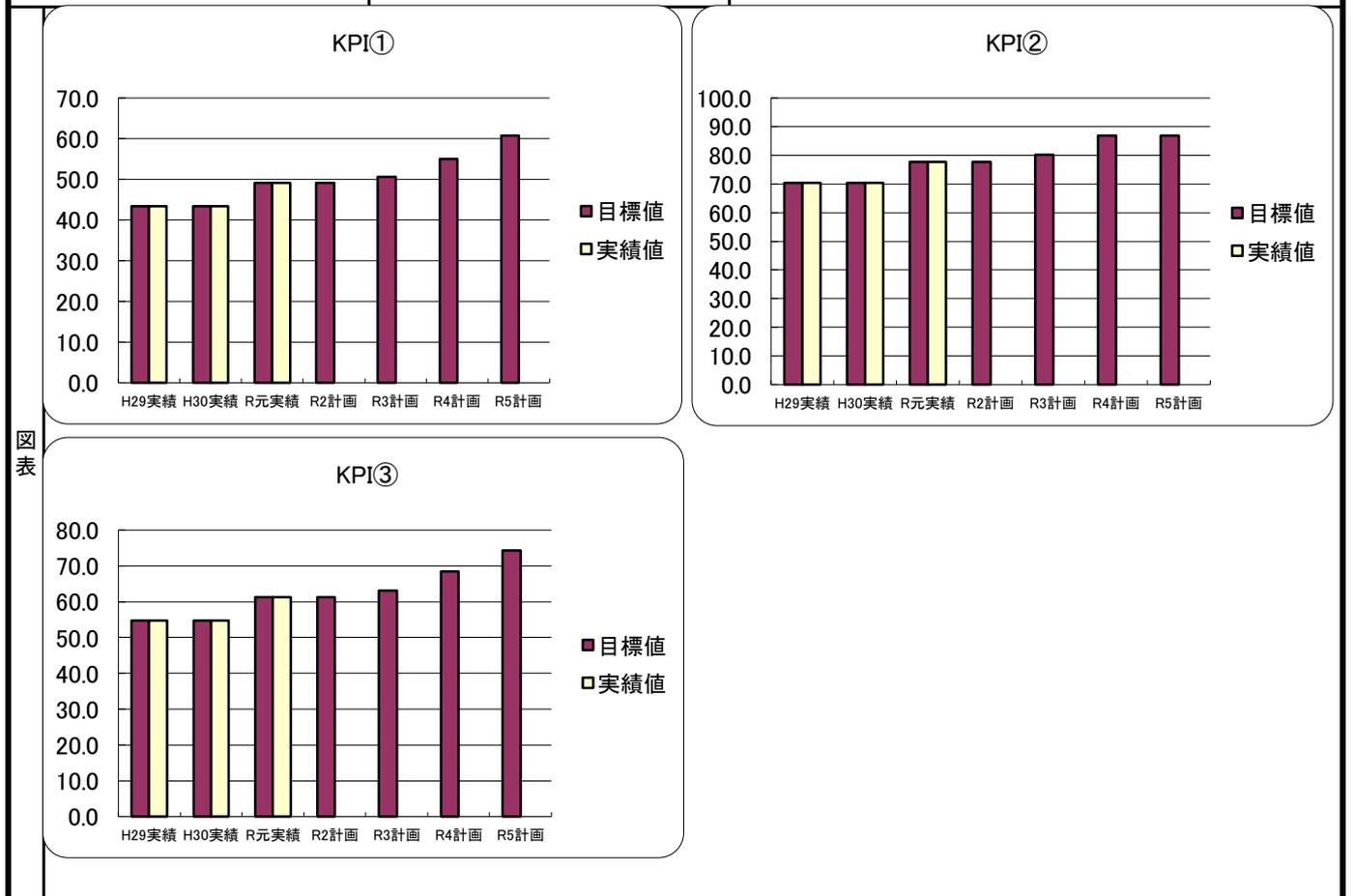
5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		エレベーター設置によるバリアフリーアクセス住戸の割合					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	43.4	43.4	49.1	49.1	50.6	55.0	60.8
実績値	43.4	43.4	49.1				
達成度	100.0	100.0	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この割合が高まっていることで、子育て世帯や高齢者、障害のある人など入居者の多様化に伴う対応が出来ていることが、確認できます。		第5次泉佐野市総合計画策定時の設定値(R5)は57.9%としていますが、公営住宅等長寿命化計画(平成28年策定)に基づき算出した値で、令和1年度から令和5年度までの目標値を再設定しています。		市営鶴原団地住宅3・5・6・7棟の用途廃止及び市営鶴原団地住宅2棟の竣工により実績値が上昇しています。			

② KPI 2		浴室設置住宅の割合					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	70.3	70.3	77.7	77.7	80.1	86.9	86.9
実績値	70.3	70.3	77.7				
達成度	100.0	100.0	100.0				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
要望が多い浴室設置住宅の割合を指標とすることで、ニーズに対応した住宅の供給状況が確認できます。	第5次泉佐野市総合計画策定時の設定値（R5）は85.1%としていますが、公営住宅等長寿命化計画（平成28年策定）に基づき算出した値で、令和1年度から令和5年度までの目標値を再設定しています。	市営鶴原団地住宅3・5・6・7棟の用途廃止及び市営鶴原団地住宅2棟の竣工により実績値が上昇しています。

③ KPI 3		市営住宅の耐震化率					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	54.7	54.7	61.2	61.2	63.1	68.5	74.3
実績値	54.7	54.7	61.2				
達成度	100.0	100.0	100.0				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この割合が高まっていることで、市営住宅の安全性の向上が確認できます。	第5次泉佐野市総合計画策定時の設定値（R5）は63.6%としていますが、公営住宅等長寿命化計画（平成28年策定）に基づき算出した値で、令和1年度から令和5年度までの目標値を再設定しています。	市営鶴原団地住宅3・5・6・7棟の用途廃止及び市営鶴原団地住宅2棟の竣工により実績値が上昇しています。



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	住宅マスタープランや市営住宅ストック活用計画に基づき設定している。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	公営住宅法により住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸し、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としているため、市民全体の重要度偏差値は低くなっているが、住宅に困窮している市民のニーズは高い。 H30年度市民アンケート調査の満足度(偏差値)は50.4となりH24調査と比べ低下した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	国からの通知「入居承継に係る承認基準の厳格化について」に基づき、泉佐野市においても入居者の地位の承継承認基準の厳格化を図ることとし、泉佐野市営住宅条例施行規則(平成28年4月1日施行)の改正を行いました。
	合計点	(10点中) 9点	
総合評価	A	財政健全化計画の見直しにより建替事業は一時中断が、平成28年度より鶴原団地住宅(1~5棟)建替事業に着手し、鶴原団地住宅2棟を平成30年度に竣工。また、国の通知などに基づき、泉佐野市営住宅条例や同施行規則の改正等を適正に行い、また、毎月の督促などにより徴収の強化に努めた。	
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	B	施策をより適正に評価できる新たな指標の追加を検討すること。	
三次評価(理事者による評価)	B	施策をより適正に評価できる新たな指標の追加を検討すること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	事務事業		R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01042900	市営住宅管理事務事業	44,350	3,892	-100,260	0	B
2	01043000	市営住宅施設管理事業	22,755	63,314	35,560	0	B
合計			67,105	67,206	-64,700	0	